

各 位

会 社 名	黒 田 電 気 株 式 会 社
代 表 者	代表取締役社長 上 杉 貞 夫 (コード番号 7 5 1 7 東証・大証第一部)
問い合わせ先	責任者役職名 執行役員 総務部部長 氏 名 黒 田 信 行 電 話 番 号 03 (6716) 0850

イーベシック株式会社とゴールドパートナー契約締結 次世代型プラスチック添加剤の販売を開始

当社は、市場が要求する環境負荷軽減の新製品をすばやく発掘し製品開発サポート・販売を通じて環境共生へ積極的に取り組んでおります。

この度、次世代型プラスチック添加剤を株式会社日本ボロンと共同開発したイーベシック株式会社とゴールドパートナー契約を締結いたしました。これにより優越的販売権を取得し、超臨界技術を応用したナノテク新素材による次世代型プラスチック添加剤「ナノ ハイブリッド カプセル 2」の販売を開始いたします。

「ナノ ハイブリッド カプセル 2」は、10 億分の 1 という超微細技術であるナノテクノロジーと環境融和型溶媒として注目されている超臨界二酸化炭素流体の特性を活用した新技術によって開発したナノカプセルを樹脂に応用した添加剤です。これは、リン脂質を超臨界技術を使用してナノカプセル化したもので、PP（ポリプロピレン）、PE（ポリエチレン）、PET（ポリエチレンテレフタレート）など現在汎用されているプラスチックに 3 %程度混入させることにより結晶の発達が促進され、強度が最大 2 倍に高まります。強度が増す分だけ使用する原材料（樹脂）の量を減らすことができます。燃焼時には酸素吸着剤の作用にて、CO₂（炭酸ガス）排出量がほぼ半減します。

また、このカプセルにポリ乳酸などの生分解性物質を保持させることにより、生分解性プラスチックとすることができ、PP、PEに混入した場合、最終的には分解し土に還ります。（品質保持期間は約 3 年）

生分解性プラスチックへ切り替える場合、従来の製造設備では対応できない事が多く、導入にかかるコストが大きな負担となっていました。「ナノ ハイブリッド カプセル 2」は、既存のプラスチックに混入するため新たな設備投資は不要です。生分解性プラスチック生産の問題点を解決し、製造開始までのコストやタイムロスを抑えることが可能となります。

イーベシック株式会社の概要

所 在 地： 東京都豊島区東池袋 3 - 2 2 - 7

代表取締役社長： 青木 享保

設 立： 平成 15 年 11 月 4 日

資 本 金： 3,100 万円

事 業 内 容： 1) ナノ ハイブリッド カプセル 2 (次世代プラスチック添加剤) の製造
2) 分解性プラスチック添加剤の販売
3) B I O 環境改善システムの販売・コンサルティング
4) 情報処理事業全般 (コンピュータシステムのコンサルティング、ネットワークの構築)

製品に関するお問合せ先

黒田電気株式会社 営業本部

事業開発ビジネスユニット N B C C 佐藤

T E L 03-6716-0860

F A X 03-6716-0866

E-Mail product@kuroda-electric.co.jp